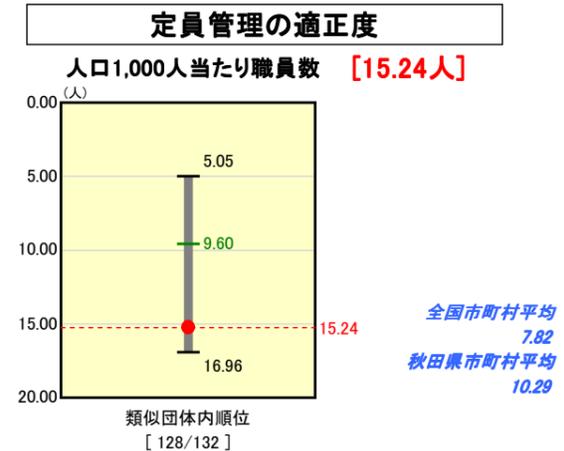
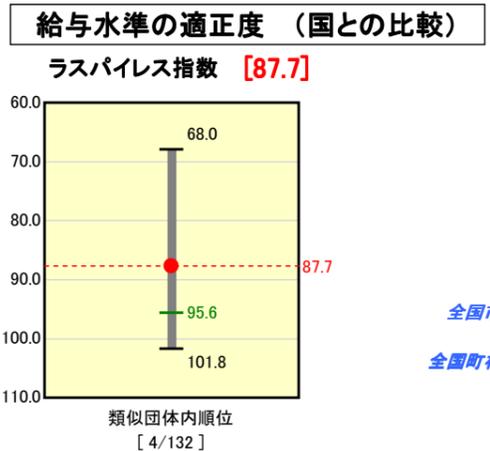
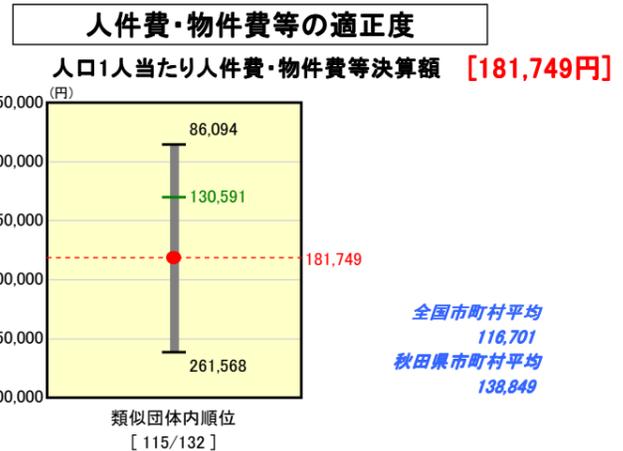
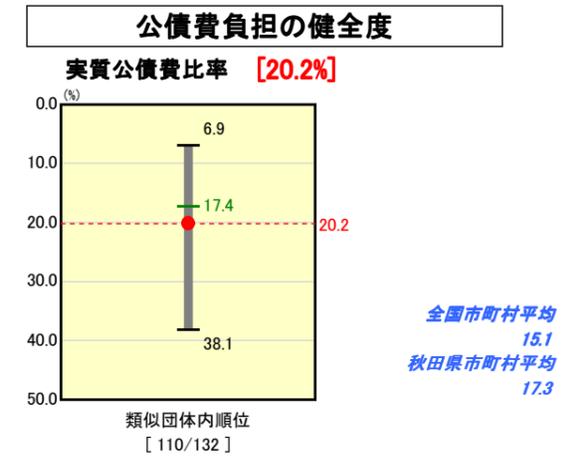
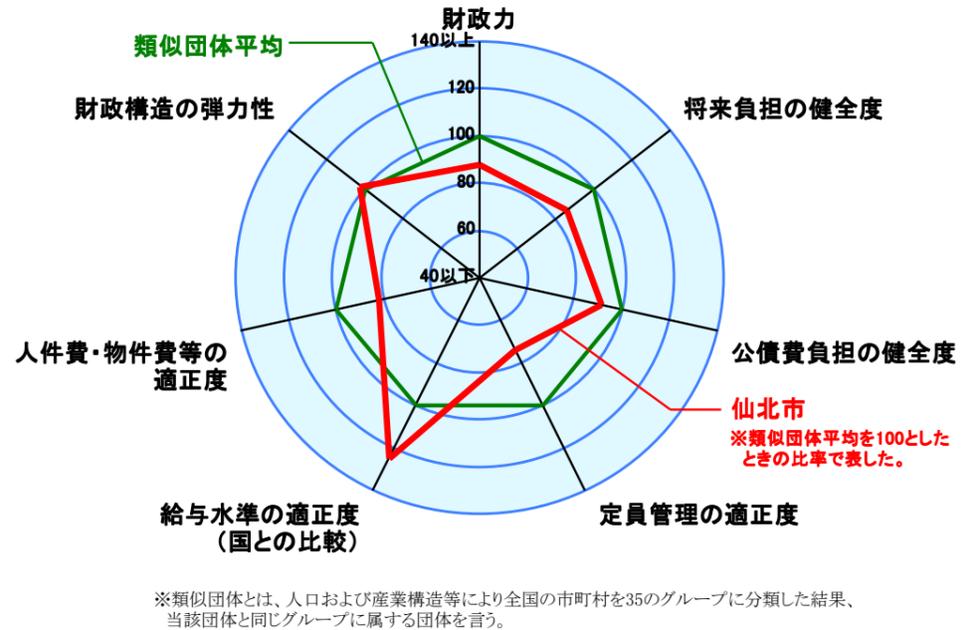
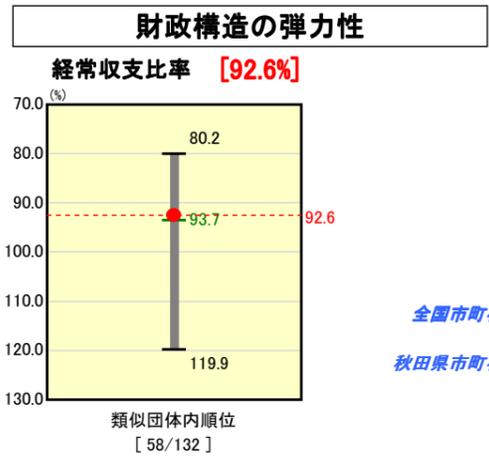
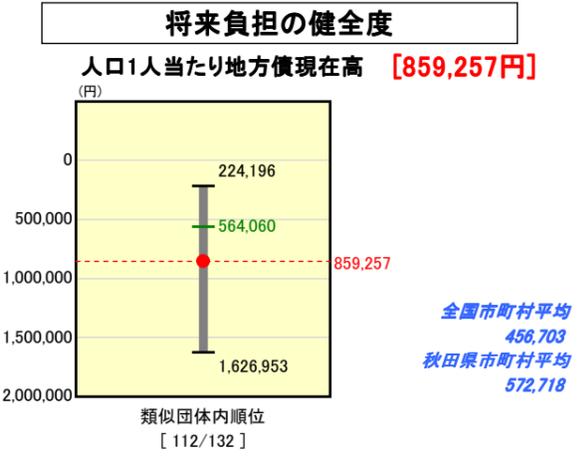
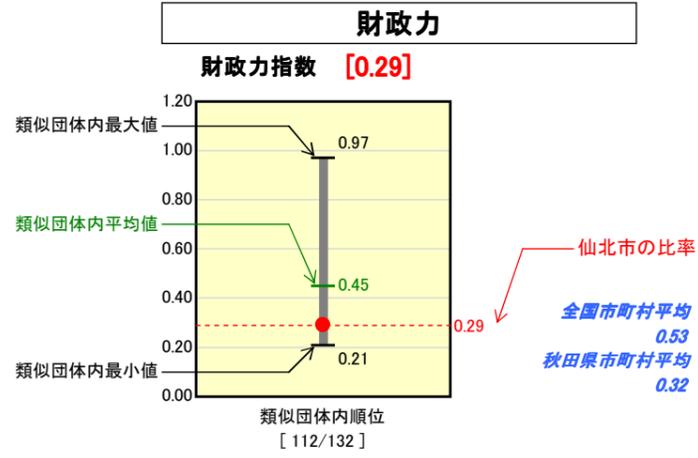


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 秋田県 仙北市

人口	31,889人	(H19.3.31現在)
面積	1,093.64	km <sup>2</sup>
歳入総額	18,610,671	千円
歳出総額	18,176,044	千円
実質収支	369,748	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

《財政力指数》  
人口減少に加え、市内に核となる大きな産業がないことにより、財政基盤が極めて脆弱であり、類似団体を下回っている。今後は基幹産業である、農林業、観光の施策の重点化に努め、活力あるまちづくりを展開しつつ、現在進めている集中改革プラン及び行政改革大綱に基づいた歳入の見直しや市税等の徴収強化を図るなど財政基盤の強化を図る。

《経常収支比率》  
平成18年度は、普通交付税が合併に伴う算定替等により大幅な増額となったこと、合併に伴う物件費の減や議員報酬などの人件費が減となったことにより、昨年度より2.6%の減となり、類似団体平均を1.1%下回っている。今後は集中改革プラン及び行政改革大綱に基づいた、事務の効率化、民間委託・指定管理者制度の活用により経常経費の削減に努めることにより、経常収支比率を類似団体平均まで低下させることを目標とする。

《人口1人当たりの地方債現在高》  
類似団体平均に比較して市債残高は、大型プロジェクト(一般廃棄物最終処分場建設、都市計画事業)の関係で約1.5倍となっている。人件費をはじめ義務的経費の削減や単独事業の見直しを中心とする行財政改革を進め、プライマリーバランスの黒字を意地するため事業の見直しを行い新規発行債(臨時財政対策債及び合併特例債は除く。)の抑制に努め地方債現在高の縮減を図る。

《実質公債費比率》  
一般廃棄物処理場、義務教育施設整備、下水道事業などを積極的に整備してきた結果、高比率になっている。今後は公債費負担適正化計画により26年度に17%台を目標に起債の抑制を図る。

《ラスパイレス指数》  
類似団体平均より7.9%も下回っており低水準にある。今後も人事院勧告等に沿った制度改革等をみながら給与の適正化に努める。

《人口1,000人当たり職員数》  
保育園、老人福祉施設など福祉関係事業の積極的な施策の展開に人員が必要であったため、人口当たりの職員数は類似団体と比較すると多い。今後「団塊の世代」等の職員の大量退職を迎えることから、この状況を、抜本的な組織変革に向けた好機と捉え、職員が担うべき業務分野を明らかにした上で、事務事業のアウトソーシングの推進を図る。また、福祉施設等については、民営化の移行を積極的に推進し、平成22年度当初までの数値目標を掲げた仙北市定員適正化計画(平成18年3月策定)に基づき、定員管理の適正化を進めます。